

もりわき はやと

# 森脇勇人が行く!!

Vol.2

## 新松江市の発展のために

松江市議会議員 森脇勇人

合併後二年が経過しました。後援会の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

一昨年（平成十七年）四月の松江市議会議員選挙におきましては、後援会の皆様には身に余るご支援をいただき、松江市議会議員として活動させていただいております。

さて、合併に伴い四十八名の市議会議員が選出されました。皆様すでにご存知の方も多々ありますが、私は三十名を擁する保守系最大派「松政クラブ」で活動しております。議会では、経済委員会委員と基地等対策特別委員会委員長、公共交通検討委員会委員を務め、今年度からは建設環境委員会、議会運営委員会、宍道湖・中海間題等対策特別委員会の委員、また松政クラブの副幹事長を務めています。松政クラブは、松江選挙区の議員十六名と八束郡選挙

区の議員十三名で構成しており、市政に対する責任会派として新市の融合一体化を推進し、「合併してよかった」と言ってもらえるよう日々活動しております。

合併前、旧美保関町議会議員として合併協議に協議会委員として参加し、合併後の協議内容の遵守また新市の融合一体化、一市七町村の特色をいかしたまちづくりを訴えました。

新松江市の融合一体化については、昨年まちづくり指針が示され又、公民館のあり方についても最終答申が示されました。特色ある事業やよい内容の事業が協議され、選択されなければなりません。

今後も市民の皆様のご意見を伺い、市政に反映できるよう活動してまいりますので、どうかご支援いただきますようお願いいたします。

## 4つの決意

初心に返って全力で取り組みます。

- 1、提案します
- 2、質問します
- 3、報告します
- 4、行動します

森脇勇人後援会 公式ホームページ

<http://www.moriwaki-hayato.jp>

# 若さ、情熱、行動力!! 新しい力で地域が動く…。

## 重点的に取り組んでいます

### 定住対策

私は町議のときから一貫して定住対策を訴えてまいりました。それは松江市になっても変わりません。定住対策とは、雇用の創出や教育環境、商業施設、病院、公共交通など総合的に考えていかなければなりません。松江市のあるべき姿、都市計画をしっかりとて、「まちづくり」を行っていかねければなりません。これら一つ一つを積み上げて提言していきたいと思っております。

### 簡易水道、水道事業の一本化

現在旧松江市では、上水道事業は受益者負担一〇〇%、上水道よりも簡易水道が高く設定されています。逆に旧町村の簡易水道料金は安く設定されており五年を目途に激変緩和措置がとられます。私は合併協議会で「旧松江市と旧町村では文化がちがう」と発言しました。それは、旧町村は助け合いの精神のもと簡易水道でもみな同じ料金だったからです。新松江市市民がみな同じ料金設定になるよう提案していきたいと思っております。



# 公共交通について

私はこの二年間、公共交通体系整備計画策定委員会に四名の議員代表として参加させていただきました。様々な提言、意見を述べさせて頂きましたが、この度の公共交通についての取りまとめが出来ましたのでご報告いたします。

全体については、市内を市営バス、郊外を一畑バスが行うことになりました。

## 美保関町の変化

① 中高生通学助成事業

今までは、コミュニティバス（町民バス）の割引だけでしたが、一畑バス、交通局、日の丸バス、JR、一畑電車などが、割引の対象になり、国立・市立中学校及び高等学校等通学生の通学定期券月額二万円を超える額の二分の一が補助されます。（資料参照）  
 ② 菅浦、稲積など今までバスが入らなかった地区にもバスが入るようになりました。

③ 渡船が廃止になり、境港まで（宇井〜JR境港駅往復）のバスが運行しました。  
 ④ 利用しやすいよう、一部運行時間の調整がされています。  
 ⑤ 平成十八年四月より美保関町コミュニティバス利用促進協議会を立ち上げて頂き、各種団体の代表の皆さんに利用促進について協議をして頂き、地域の意見がくみ上げられています。  
 ※バスの利用促進にご協力下さい。

## 公民館について

先般、公民館制度検討委員会の最終答申が報告されましたのでご報告します。

この検討委員会は、平成十七年十一月に設置され新松江市としての新たな公民館制度が検討されました。

個人的には公民館運営費の取り扱いなどさらに検討が必要だと思います。

検討委員会八回、検討小委員会三回、旧町村公民館・自治連代表者意見交換会一回が開催され各地域協議会で意見聴取がなされています。

## 公民館制度検討委員会最終答申より

○公民館

旧町村には各一館の設置。旧松江市は現行設置単位

○地区公民館

美保関町五ないし六館、鹿島町三館、宍道町一館、島根町一館の設置

○分館

島根町一館、美保関町十六館、八雲町二館の設置

○実施時期

平成二十年度を目途。地区館、分館の地区集会所への移行

分館については、概ね平成二十三年、地区館については、概ね平成二十七年を目途に、地元自治会等が管理する地区集会所等へ段階的に移行すべしと考えます。

## 通学生定期割引について

《主な地区別制度導入前後比較表》…松江商業通学を想定(1ヶ月定期)

【試算方法】:各地区とも現在想定される各種定期代の最高額を基準として試算

居住地 _コミュニティバス	松江商業 乗車	新制度				現状				
		定期代	補助額	自己負担	補助率(%)	定期代	補助額	自己負担	補助率(%)	
旧松江市	大野地区	魚瀬	26,150	8,075	18,075	30.9	26,150	0	26,150	0.0
	秋鹿地区	芦尾	25,500	7,750	17,750	30.4	25,500	0	25,500	0.0
	古江地区	畑谷入口	21,900	5,950	15,950	27.2	21,900	0	21,900	0.0
	生馬地区	高専前	16,500	3,250	13,250	19.7	16,500	0	16,500	0.0
	持田地区	持田	16,200	3,100	13,100	19.1	16,200	0	16,200	0.0
	本庄地区	新庄入口	22,500	6,250	16,250	27.8	22,500	0	22,500	0.0
	朝酌地区	朝酌公民館	15,600	2,800	12,800	17.9	15,600	0	15,600	0.0
	竹矢地区	竹矢	15,300	2,650	12,650	17.3	15,300	0	15,300	0.0
	大庭地区	大庭十字路	10,800	400	10,400	3.7	10,800	0	10,800	0.0
	忌部地区	中戸	16,800	3,400	13,400	20.2	16,800	0	16,800	0.0
鹿島町	鹿島町古浦	25,200	7,600	17,600	30.2	25,200	8,100	17,100	32.1	
島根町	島根町	29,100	9,550	19,550	32.8	29,100	0	29,100	0.0	
美保関町	美保関町	30,780	10,390	20,390	33.8	31,980	4,800	27,180	15.0	
八雲町	八雲町	14,400	2,200	12,200	15.3	14,400	0	14,400	0.0	
玉湯町	玉湯温泉駅	9,430	0	9,430	0.0	9,430	0	9,430	0.0	
宍道町	宍道駅	12,590	1,295	11,295	10.3	12,590	0	12,590	0.0	
八束町	八束中央	25,800	7,900	17,900	30.6	25,800	3,000	22,800	11.6	

《制度創設により特に影響がある事項》

- ① 鹿島町、美保関町、八束町以外の地区は制度創設により補助を受けることが出来るようになる。
- ② 鹿島町は現制度より補助額が少なくなる。  
\* 基準額が 9,000 円/月から 10,000 円/月となり、全員が 500 円/月の負担増となる。
- ③ 美保関町は制度創出により補助を受けることが出来るようになる。(ただし、コミュニティバス定期代加算)  
\* 現行はコミュニティバスを無料(1ヶ月定期 4,800 円)とする補助により通学支援を実施。  
\* 新制度はコミュニティバスを有料(1ヶ月定期 3,600 円)とし、補助対象経費に合算して補助を行う。

区分	総経費	路線バス	コミュニティバス	補助額	自己負担額	補助内容
現行	31,980 円	27,180 円	4,800 円	4,800 円	27,180 円	コミュニティバス 4,800 円無料
新制度	30,780 円	27,180 円	3,600 円	10,390 円	20,390 円	(<バス>27,180 円+<コミュニティバス 3,600 円>-10,000 円)/2
差引	△1,200 円	0 円	△1,200 円	5,590 円	△6,790 円	

- ④ 八束町は基本的に橋南地区への路線バス利用者は補助額が増加する。  
\* 路線バス 1ヶ月定期に対し定額 3,000 円の補助(片道定期は 1,500 円)  
現 状:総経費・25,800 円 負担額・22,800 円 補助額・3,000 円  
新制度:総経費・25,800 円 負担額・17,900 円 補助額・7,900 円  
\* ただし、下記の 2 パターンでは減額あるいは補助が無くなる。  
(1)JR 定期に対し 700 円/月の補助を実施していたが、月額 10,000 円以下(米子高専 6,930 円)となるため補助が無くなる。  
(2)利用区間が松江駅より近い利用者は減額、片道定期利用者は、月額 10,000 円以下(松江駅まで 8,910 円)となるため補助が無くなる。

○同様な他の補助制度との併給は行わない。

- ・保健福祉課:ひとり親家庭等高校通学費助成事業
- ・教育委員会:遠距離通学児童生徒通学費補助金

○定期券が終了した翌月以降の請求に基づき支払う。(実績払い)…使用済み定期券を添付

(公共交通検討委員会資料より)

# 美保関町地域の主な事業 〈平成19年度松江市予算分〉

美保関町地域の主な事業を紹介します。

- 定住拠点用地整備事業（つるべ湾の造成事業について護岸工を施工）L-138.5m … 85,600千円
- 河川排水路改良工事（治水対策として河川及び排水路の改良を行うもの）法田川他市内20ヶ所
- 道路整備事業 才軽尾線  
L=795m W=5m … 36,765千円（平成17～21年。総事業費202,000千円）

## ■下水道関係

（単位：千円）

事業名	予算額	事業の概要			
		国・県支出金	市債	その他	繰入金
公設浄化槽 建設改良事業 (公設浄化槽事業)	111,730	15,914	71,400	9,813	14,603
		集合処理方式の採用がコスト面で不利である家屋点在地域の住宅に、市が個別合併処理浄化槽を設置し、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図る。 ○主要事業 ・公設浄化槽の設置工事（全地区） 予定基数（（ ）内は既管理基数） 旧松江市域（150） …… 41基を設置 八雲町（301） …… 26基を設置 美保関町（ 3） …… 6基を設置 八束町（ 4） …… 5基を設置 鹿島町（28）、島根町（0）、玉湯町（57）及び宍道町（1） …… 各3基ずつを設置			
集落排水施設 建設改良事業 (集落排水事業)	548,930	249,500	290,500	8,930	0
		農業・漁業集落において、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、汚水の集合処理施設を整備する。 ○主要事業 ・美保関町（整備完了目標は平成21年度末） 福浦地区 …… 管路布設工事及び処理場施設建設工事 笹子地区 …… 管路布設工事 雲津地区及び惣津地区 …… 実施設計 法田地区及び諸喰地区 …… 基本計画策定 ・美保関町以外の地域は全て整備完了済 ・鹿島町内の本郷・一矢・講武北及び宮内の各施設を、順次恵曇地区特定環境保全公共下水道へ接続し、処理場施設を統廃合して施設管理の効率化を図る。			
下水道建設改良事業 (下水道事業)	3,126,031	793,100	2,193,200	137,436	2,295
		計画区域内の汚水を排除・処理し、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道施設の整備を行う。（流域下水道整備負担金を含む。） ○主要事業 ・管路布設工事 …… 旧松江市域、美保関町（七類地区特定環境保全公共下水道） 八雲町、玉湯町及び宍道町 ・処理場建設工事 …… 美保関町（七類地区特定環境保全公共下水道 … 平成19年度一部供用開始予定） ・実施設計 …… 美保関町（森山地区特定環境保全公共下水道）			

## ■ケーブルテレビ

事業名	予算額	事業の概要			
		国・県支出金	市債	その他	繰入金
ケーブルテレビ 施設整備事業 (地域情報基盤整備事業)	482,538	187,750	280,000		14,788
		美保関町、八雲町、玉湯町、宍道町、八束町地域において、民間有線放送事業者に財政支援をすることにより、そのサービス提供エリアの拡大を促し、テレビ再送信サービス、高速インターネットサービス、IP電話サービスなどの高度情報サービスを住民が利用できる環境を整える。 ○事業内容 ・平成17年度（9月補正） …… 電柱調査、詳細設計 ・平成18年度 …… 第1期工事（八雲町、玉湯町、宍道町） ・平成19年度 …… 第2期工事（美保関町、八束町） ○提供サービス ・テレビ再送信（住民生活情報・防災情報の提供難視聴対策） ・高速インターネット ・IP電話 ○運用開始 ・平成19年4月～八雲町、玉湯町、宍道町 ・平成20年4月～美保関町、八束町 ○事業主体 ・山陰ケーブルビジョン(株)			

## 加入料及び例月利用料

### ①新規加入時

	通常時	キャンペーン時
加入金	52,500円	0円
引込工事費	10,500円	10,500円
計	63,000円	10,500円

### ②例月利用料 通常のマール基本チャンネル利用料金 …… 2,100円/月

※宅内工事費は、加入者が実費を負担する。

# 議会報告

平成十七年六月議会

## ■広域的な連携について

旧美保関町で開催された宍道湖・中海水域アゴすくいサミットは、約一〇〇名の皆様に美保湾での伝統漁業アゴすくいを経験していただき、国の登録有形文化財建造物である美保館旧館におきまして美保関の伝統や文化に触れていただきました。これは、地元の実行委員会が企画されたもので、人が人を呼び、多種多様な方々が参加され、これからの中海・宍道湖圏の水産・文化・観光、政治をテーマとするには格好の人脈をつなぐ会であったと私は思います。

新松江市においては、境港市、米子市、安来市、出雲市、斐川町など、中海・宍道湖圏、また日本海を共有する自治体や国、隠岐の町村とふえていき、さまざまな問題での協議が今まで以上にふえてくること予想されます。

## ■公共交通機関について

旧美保関町内は大人二〇〇円、通学については小学生、中学生、高校生、専門学校生は無料のコミュニティバスが運行されており、美保関町バススターミナルから松江駅までは学生割引の三ヶ月の半額ですが、約六万円かかります。一年間では約二、四万円の交通費がかかります。高校生を持つ親御さんの中には、半額の片道定期を購入して車で送迎、仕事をやめて送迎されている方も多く見受けられます。

これは、単に料金が安いからというだけではなく、バスの運行時刻や乗りかえなどの不便さによるものも含まれます。また、宍道支所から松江駅までの距離と、美保関支所から松江駅の距離はほとんど変わらないのですが、宍道駅から松江駅間十七キロはJR路線で三二〇円ですが、美保関支所から松江駅間は一畑バス、町民バスの乗り継ぎで九三〇円かかります。これはJR線の境港から米子を経由して松江駅までの四六・八キロ、八二〇円よりも高い料金になります。

しかしながら、交通弱者の方は、幾ら高いからといっても、それを利用しないわけにはいきません。私は、公共交通はまず利便性と運賃、特にバスを常時使わなければならない交通弱者の方々のサービスの充実が望まれると思います。そのためには、現在一畑バスが行っている旧優待券を発行されていたんですが、それに似た六十五歳以上定期券(エバーグリーンパス)を、こうしたものに近いサービスが学生や一般の方々にも適用されること、今一〇分違えば都合の悪い乗り物となってしまうので、的確な運行時間を把握して利用者に応じた運行をすることが大事であると思います。

## ■支所とまちづくり予算について

各支所において、決裁権がないため本所で聞いてほしいなどの回答がこちらから聞こえてきます。地域まちづくり予算については、今後、支所長に

森脇勇人は、松江市議会において積極的に質問に立ち回っています。いれまで松江市議会で行った質問の概要をお知らせします。

平成十七年九月議会

## ■北朝鮮の脅威と防衛計画

県庁所在地で唯一原子力発電所とレーダーサイトを持つ松江市は北朝鮮の脅威にさらされる可能性を否定できない。ミサイル防衛計画、迎撃ミサイルの配備、イージス艦の配備、寄港地の整備など、近隣の出雲市、境港市、米子市など防衛施設のある自治体と共同して国への働きかけを行っていく必要があると考えます。

## ■隠岐汽船の経営悪化にともなう寄港地の廃止や減船について

隠岐汽船の経営悪化は七類港を有する松江市にとって、観光客誘致一〇〇万人構想に影響がでないか。民間レベルでは隠岐との交流は盛んに行われている。例えば隠岐との交流事業、観光事業や隠岐汽船を使ったイベントなど隠岐汽船の利用促進に協力できないかと思えます。

## ■漁業振興と活性化策について

今後の水産振興には、つくり育てる漁業をはじめ豊かな漁業環境の整備や水産加工品のブランド化など、ハード、ソフトともに考えなくてはなりません。しかしながら、現在の状況は、漁港港湾の改修事業などのハード事業に追われ、ブランドの推進や観光との連携といったソフト事業がままならぬ状況にあると思えます。もつとソフト事業を、特に観光との連携について取組むべきだと思います。

## ■支所の役割と住民サービスについて

様々な合併協議を経て出来上がった新松江市、中には水道料金の激変緩和措置やゴミ袋の料金、公民館のあり方、目的基金の使われ方など多くの取り決め事項もありました。一方、地方交付税の減額措置や税収の減少、また合併前に想定しなかった事業の見直しなどもあり地域財政見直しなどにより、合併後、話が違ったとかサービスが悪くなったという声が聞かれます。例えば、健康診断や相談事業、税金申告の説明など各地区への巡回サービス。合併後はそのようなサービスが低下し、高齢者や交通弱者の住民には不便をかけています。住民にとって何がサービスなのか、具体的な取組を期待しています。

## ■地域協議会について

地域振興を図る上で、各公民館からはさまざまな要望や提案がなされ、市長部局から各部に振り分けられ対応がなされています。同じように地域協議会からの要望や提案は支所部局から各部に振り分けられ対応されるものだと思います。しかし、現在うまく機能していない。地域協議会で、市長からもつと諮問をされるべきだし、地域協議会はもつとまちづくりのために要望や提案をだすべきだと思います。ぜひ活性化するようにご指導

## ■定住対策について

先送り・保留にされている事業の中には、古江団地、鹿島の本郷地区住宅団地、島根町のマリントウ加賀宮営住宅、美保関町の定住拠点団地、八雲の宮谷グリーンタウン、玉湯の湯の里まちづくり事業、市営住宅、灘地区集会所などが含まれています。これらはいずれも旧町村の人口の少ない地域での過疎対策の意味合いが深い事業ばかりです。しっかりと定住対策についての検討をしていただきたい。

## ■定住対策を推進するためのセクション、企業誘致活動を推進するセクションを設けることについて

また、定住対策を推進するためのセクション、企業誘致活動を推進するセクションを設けることについて、大賛成期待をされている。

## ■人口減少とその対策について

住宅地を求めるに当たっては、安価なものを求めていくというのが皆さんのお考えであると思えます。旧美保関町では、国勢調査によると、前回調査より約五〇〇〇人の人口が減少しており、毎年、大体一〇〇〇〇人の人が町の中から失われていくわけですが、そういったことを踏まえて、定住対策等を考え、いろいろな事業を取り組んでまいりたいです。

## ■国勢調査の結果について

平成十七年の国勢調査の結果速報が発表され、合併後、特例市を目指していましたが松江市も戦後初めての減少となりました。平成十二年の国勢調査の十九万九、二八九人から二、七〇八人の減少、人口減を抑制するために、旧市町村では定住対策を行ってまいりました。例えば、コミュニティバスの運行、下水道の整備、住宅地の造成、新規事業や第三セクターの運営による雇用の創出などさまざまな取り組みがなされています。新松江市の建設計画には、そんな旧市町村の住みよいまちづくりへの夢や希望が盛り込まれています。

## ■平成一八年三月議会

## ■公共用地跡地について

ガス局跡地、市立病院跡地、県立プール跡地の利用計画を明確に示して欲しい。公有財産の貸付、売却促進、市民ニーズに応えた有効活用、例えばPFI事業での活用なども含めて調整する部署をつくり、また有効利用についての計画スケジュールを立てていただきたい。

## ■平成一八年九月議会

## ■定住対策について

先送り・保留にされている事業の中には、古江団地、鹿島の本郷地区住宅団地、島根町のマリントウ加賀宮営住宅、美保関町の定住拠点団地、八雲の宮谷グリーンタウン、玉湯の湯の里まちづくり事業、市営住宅、灘地区集会所などが含まれています。これらはいずれも旧町村の人口の少ない地域での過疎対策の意味合いが深い事業ばかりです。しっかりと定住対策についての検討をしていただきたい。

## ■定住対策を推進するためのセクション、企業誘致活動を推進するセクションを設けることについて

また、定住対策を推進するためのセクション、企業誘致活動を推進するセクションを設けることについて、大賛成期待をされている。

▲ 詳しくは松江市議会ホームページをご覧ください。 <http://www.city.matsue.shimane.jp/jumin/gikai/>

## 森脇勇人後援会規約

- 名称/本会は森脇勇人後援会と称する。
- 目的/本会は森脇勇人君の社会的・政治的活動を支援し、地域の発展に寄与すると共に、元気で魅力的な美保関町の実現を図ることを目的とする。
- 事業/本会はその目的達成のために、会報、パンフレットその他資料の作成配布、後援会および研修会の開催、調査、研究その他本会の目的達成に必要な事業を行う。

## 〈主な経歴〉

- ・美保関町消防団惣津分団長
- ・美保関町商工会青年部長
- ・島根県商工会青年部連合会副会長
- ・七類小学校PTA会長
- ・北小学校PTA会長
- ・美保関中学校PTA会長
- ・松江市PTA連合会会長
- ・松江市消防団美保関方面副団長

## 森脇勇人プロフィール

- 昭和38年9月5日美保関町惣津に生れる 43歳
- 美保関北中学校、松江商業高校卒業。
- 高校時代は、野球部で投手・主将を務める。
- 中石産業(株)勤務の後、父が亡くなり、片江プロパン代表
- 美保関町議会議員(二期)
- 地域安全推進委員

(討議資料)